

令和7年度第1回循環器病対策推進に関する小委員会 (脳・心血管疾患関連)

- 日 時 令和7年8月21日(木) 午後3時～3時40分
- 開催方法 オンライン開催
- 出席者 27人
(鳥取県医師会)
岡田常任理事
(心血管疾患関連)
吉川委員長、加藤克・加藤達・宮崎・角田・畑野各委員
(脳血管疾患関連)
黒崎委員長
花島・瀧川・阪田・中安・田淵・日笠・紙谷・竹内・伊坂各委員
宇野鳥取大学医学部脳神経外科学分野助教
県健康政策課：大谷参事、角田課長、北根課長補佐、田中保健師
健康対策協議会事務局：岡本事務局長、田中尚・田中貴両係長、
岩垣主任、廣瀬主事

挨拶(要旨)

〈黒崎委員長〉

2018年に脳卒中・循環器病対策基本法が成立し、法律に基づき脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業の応募が開始された。本県では令和5年度に鳥取大学医学部附属病院が採択され、脳卒中・心臓病等総合支援センターが設置された。本日は本センターの事業内容を中心にご意見をいただきたい。

報告事項

- 1) 令和7年度県予算事業について：県健康政策課北根課長補佐
循環器病対策推進事業として、健対協へ委託の脳卒中・心疾患に係る小委員会の開催(600千円)と心臓検診対策専門委員会の開催(200千円)、鳥

取大学医学部附属病院へ委託の脳卒中・心臓病等総合支援センターの運営(7,862千円)が主な事業である。センターの運営は昨年までは補助金だったが今年度からは委託事業となった。一般向け研修会および多職種連携のための従事者講習会も健対協からセンター事業として行うこととなった。

2) JOINを用いた連携(活用状況)について：

宇野鳥取大学医学部脳神経外科学分野助教

JOINとは医療関係者間のコミュニケーションアプリで、チャット機能、画像共有などの機能を有している。当科では救急隊が脳卒中疑い患者を覚知後、搬送前に一斉に脳外科/神経内科全医師に連絡が入る。今後は救急隊にも導入する予定で、病院搬送前から脳卒中の重症度を判定することでより重症な患者を高次医療機関に搬送できるようになる。心臓血管外科でも大動脈解離などの

患者に対しJOINを活用している。

3) その他：鳥取県健康政策課大谷参事

鳥取県死因別標準化死亡比（SMR）について説明があった。国立保健医療科学院のデータによると本県は心筋梗塞、脳梗塞による死亡が多く、年々減少傾向にはあるが、全国基準よりは高い傾向が続いている。

協議事項

1) 県民向け講演会について

令和7年10月10日(金)～12日(日)米子市において第29回日本心不全学会学術集会が開催され、その中で県民向け講演会を開催する。5題の講演とディスカッションを予定している。西部地区のケーブルテレビ、新聞、折込チラシなどで広報していく。

協議の中で、後日映像配信を検討してはどうか、東・中部地区のケーブルテレビへ取材を依頼しダイジェスト版を放送してもらうのはどうか、同日に鳥大湖山キャンパスで開催される学園祭で

配信してはどうかとの意見があった。予算の都合もあるため、脳卒中・心臓病等総合支援センター運営委員会（9月1日予定）において検討していただく。

2) 多職種連携研修会について

令和4年度から各地区持ち回りで開催している。昨年度は中部で開催し、オンデマンド配信の視聴期間の延長をしたところ視聴回数が2倍以上増えた。1)の県民向け講演会が心不全中心となることから、本研修会は脳卒中関連の研修会を検討する。これも脳卒中・心臓病等総合支援センター運営委員会において内容を検討していただく。

3) その他

○脳卒中・心臓病等総合支援センター運営委員会で協議した内容は、後日委員へメールにて周知する。

○第2回小委員会は冬に合同開催とするかどうかも含めて検討する。